

スプリットビューワー
SV-90HD
SPLIT VIEWER
取扱説明書

必ずお読みください！

ビデオトロン株式会社

この製品を安全にご使用いただくために



誤った取扱いをすると死亡または重傷、火災など重大な結果を招く恐れがあります。

1、電源プラグ、コードは

- ・指定された電源電圧 (AC100V 50/60Hz) 以外では使用しないでください。
- ・AC 電源 (室内電源) の容量を超えて機械を接続し長時間使用すると火災の原因になります。
- ・差込みは確実に。ほこりの付着やゆるみは危険です。
- ・濡れた手でプラグの抜き差しを行わないでください。
- ・抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを持って引っ張らないでください。
- ・コードは他の機器の電源ケーブルや他のケーブル等にかませないでください。
- ・コードの上に重い物を載せないでください。電源がショートし火災の原因になります。
- ・機械の取り外しや清掃時等は必ず機械の電源スイッチを OFF にしてからプラグを抜いてください。

2、本体が熱くなったら、焦げ臭いにおいがしたら

- ・すぐに電源スイッチを切ってください。ただし、電源回路上、切れない場合があります。その時は電源プラグを正しく抜いてください。機械の保護回路により電源が切れた場合、あるいはブザーによる警報音がした場合にはすぐに電源スイッチを切るか、電源プラグを抜いてください。
- ・上下に設置されている機械の電源スイッチまたはメインのブレーカーを切ってください。
- ・空調設備を確認してください。
- ・しばらく、手や体を触れないでください。ファンの停止が考えられます。設置前にファンの取り付け場所を確認しておきファンが停止していないか確認をしてください。5年に一度はファンの交換をおすすめします。
- ・機械の通風孔をふさぐような設置をしないでください。熱がこもり火災の原因になります。
- ・消火器は必ず1本マシンルームに設置し緊急の場合に取り扱えるようにしてください。
- ・弊社にすぐ連絡ください。

3、機械の近くでは飲食やタバコ、火気を取り扱うことは絶対に行わないでください。

- ・特にタバコ、火気を取り扱うと電気部品に引火し火災の原因になります。
- ・機械の近く、またはマシンルーム等の密閉された室内で可燃性ガスを使用すると引火し火災の原因になります。
- ・コーヒーやアルコール類が電気部品にかかりますと危険です。

4、修理等は、ご自分で勝手に行わないでください。

下記のあやまちにより部品が発火し火災の原因になります。

- ・部品の取り付け方法 (極性の逆等) を誤ると危険です。
- ・電源が入っている時に行うと危険です。
- ・規格の異なる部品の交換は危険です。

5. その他

- ・長期に渡ってご使用にならない時は電源スイッチを切り、安全のため電源プラグを抜いてください。
 - ・重量のある機械は1人で持たないでください。最低2人でかかえてください。腰を痛めるなど、けがのもとになります。
 - ・ファンが回っている時は手でさわらないでください。必ず停止していることを確かめてから行ってください。
 - ・車載して使用する時は確実に固定してください。転倒し、けがの原因になります。
 - ・本体のラックマウントおよびラックの固定はしっかり建物に固定してください。地震などによる災害時危険です。
- また、地震の時は避難の状況によりブレーカーを切るか、火災に結び付かない適切な処置および行動を取ってください。そのためには日頃、防災対策の訓練を行っておいてください。
- ・機械内部に金属や導電性の異物を入れないでください。回路が短絡して火災の原因になります。
 - ・周辺の機材に異常が発生した場合にも本機の電源スイッチを切るか電源プラグを抜いてください。



注意

誤った取扱いをすると機械や財産の損害など重大な結果を招く恐れがあります。

1、操作卓の上では飲食やタバコは御遠慮ください。

コーヒーなどを操作器内にこぼしスイッチや部品の接触不良になります。

2、機械の持ち運びに注意してください。

落下等による衝撃は機械の故障の原因になります。

また、足元に落としたりしますと骨折等けがの原因になります。

3、フロッピーディスクやMOディスクを取り扱う製品については

・規格に合わないディスクの使用はドライブの故障の原因になります。

マニュアルに記載されている規格の製品をご使用ください。

・長期に渡り性能を維持するために月に一回程度クリーニングキットでドライブおよびMOディスクをクリーニングしてください。

・フィルターの付いている製品はフィルターの清掃を行ってください。

通風孔がふさがり機械の誤動作および温度上昇による火災の原因になります。

・強い磁場にかかる場所に置いたり近づけたりしないでください。内部データに影響を及ぼす場合があります。

・湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。故障の原因になります。

・大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。

●定期的なお手入れをおすすめします。

- ・ほこりや異物等の混入により接触不良や部品の故障が発生します。
- ・お手入れの際は必ず電源を切ってプラグを抜いてから行ってください。
- ・正面パネルから、または通風孔からのほこり、本体、操作器内部の異物等の清掃。
- ・ファンのほこりの清掃
- ・カードエッジコネクタタイプの基板はコネクターの清掃を一月に一度は行ってください。

また、電解コンデンサー、バッテリー他、長期使用劣化部品等は事故の原因につながります。
安心してご使用いただくために定期的な(5年に一度)オーバーホール点検をおすすめします。
期間、費用等につきましては弊社までお問い合わせください。

**上記現象以外でも故障かなと思われた場合は弊社にご連絡ください。

☆連絡先.....ビデオトロン株式会社

〒193-0835 東京都八王子市千人町2-17-16

TEL	042-666-6329
FAX	042-666-6330
受付時間	8:30~17:00
E-Mail	cs@videotron.co.jp

◎土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話	042-666-6311
緊急時 **	090-3230-3507
受付時間	9:00~17:00

**携帯電話の為、通話に障害を起こす場合がありますので、あらかじめご了承ください。

..... 目次

この製品を安全にご使用いただくために.....	I
1. 概説.....	1
《特長》.....	1
2. 機能チェック.....	2
1. 構成.....	2
2. 機能チェック接続.....	2
3. POWER ON までの手順.....	2
4. 基本動作チェック.....	3
3. 各部の名称と働き.....	4
4. 操作方法.....	6
1. 基本操作.....	6
2. メニュー操作.....	7
3. 各機能の説明と操作方法(操作は前ページの「メニュー操作」をご覧ください).....	8
4. エラー表示.....	11
5. ブラウザ操作.....	12
6. エラーログ転送.....	13
7. 秒パルス受信.....	16
5. 外部インターフェース.....	17
1. REMOTE.....	17
2. 10/100BASE.....	18
6. トラブルシューティング.....	19
7. 保守・点検.....	20
8. 仕様.....	21
1. 定格.....	21
2. 性能.....	21
3. 機能.....	21
9. 外形寸法図.....	22

1. 概 説

SV-90HDは、3入力のHD-SDI映像信号間でデジタルデータとして映像信号の違いを比較したり、各々の入力信号のCRCエラーを常時監視し、エラーの発生を画面表示と接点出力で知らせます。

画面出力はエラー表示の他に、3入力映像をワイプ分割した同時表示と、3入力映像から1映像を選択したフルサイズ表示をスイッチ操作で切り替えることができます。

また、入力映像ごとに素材名などのコメント表示もできます。

※ 標準は2入力で3入力(INPUT3)はオプションです。

《特 長》

- 入力信号間の映像データを比較・監視ができます。
- 各入力信号のCRCチェックを行ない、エラー検出時にはアラームを出力します。
- オプションで3入力まで対応できます。
- WIPE境界にボーダーカラーを付けられます。
- 1080i、720Pの各フォーマットに対応しています。
- 入力スイッチでダイレクトに入力を全面表示できます。
- 入力素材名が英数字でスーパーできます。
- 同軸ケーブルでリモートパネルが接続できます。(オプション)
- ネットワークでエラーログを監視することができます。
- 秒パルスを受信して、局内時計と同期したエラーログを残します。

2. 機能チェック

1. 構成

【本体】

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	スプリットビューワー	SV-90HD	1	
2	電源ケーブル	2m	1	
3	本体ヒューズ	2A	3	
4	取扱説明書		1	本書

2. 機能チェック接続

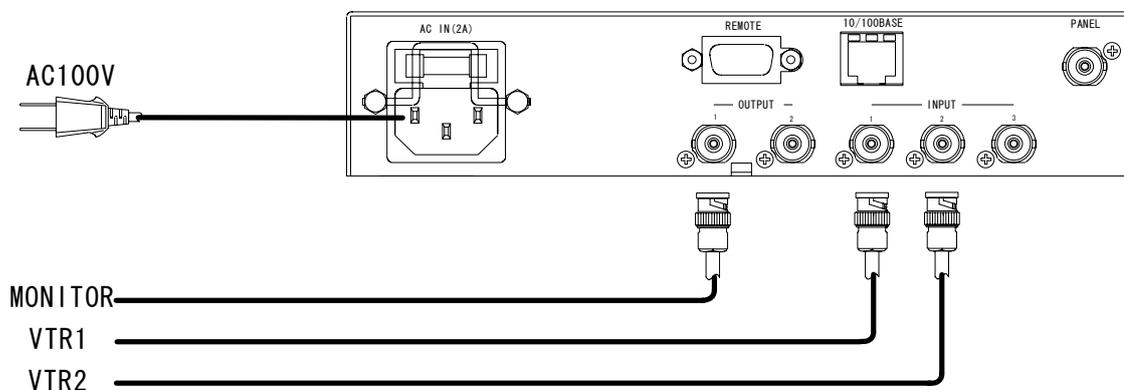


図2-1 機能チェック接続図

3. POWER ON までの手順

- (1) 本体背面のAC INへ電源ケーブルを接続し、ACコンセントに挿入します。
- (2) INPUT1,2にHD-SDIの映像信号を接続します。
- (3) OUTPUT1または2にHDモニターを接続します。
- (4) 本体正面のPOWERスイッチをONします。

※必ず入力にはINPUT1からご使用ください。

4. 基本動作チェック

下記の操作で本体が正常に動作していることをチェックします。

正常に動作しない場合はP-19「6.トラブルシューティング」を参照してください。

また、操作はP-6「4.操作方法」を参照してください。

(1) 正面のFORMATスイッチを使用する映像フォーマット(1080iまたは720p)に合わせます。

FORMATスイッチ 0:1080i

1:720p

(2) INPUT1,2にHD-SDIの映像信号を入力します。

(3) OUTPUT1にHDモニターを接続します。

(4) INPUT1,2が分割されて出力されることを確認します。

P-6「(3)画面表示」を参照してください。

※電源投入後、動作開始まで15秒程度かかります。

※必ず入力はINPUT1からご使用ください。

(5) 内部時計の設定を行いません。P-12「(1)内部時計設定」を参照してください。

3. 各部の名称と働き

・本体正面

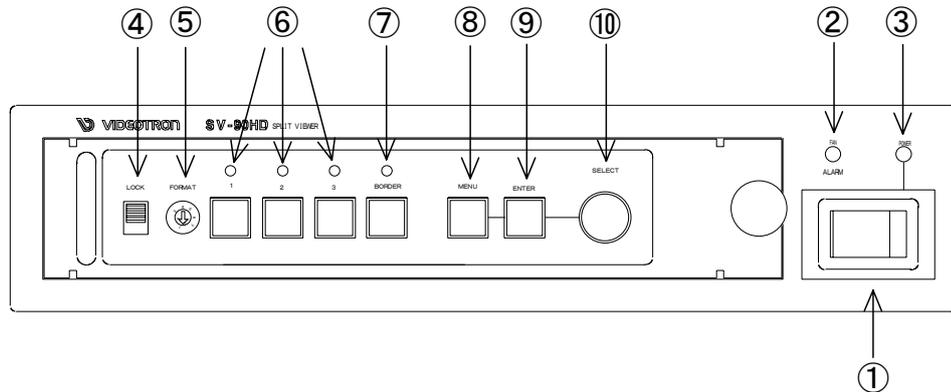


図3-1 各部の名称と働き(本体正面)

①電源スイッチ

本体電源の ON/OFF スイッチです。

②FAN ALARM

ファンに異常が生じるとアラームランプが点滅します。

③POWER

電源 ON で POWER ランプが点灯します。

④LOCK

正面パネルからの操作を全て無効にします。LOCK(上側)で操作を無効にします。(FORMAT を除く)
背面の REMOTE 端子には影響しません。

⑤FORMAT

入力信号のフォーマットを切り替えます。

0: 1080i

1: 720p

⑥ 1 ~ 3

INPUT1~3 に対応し入力を選択します。(INPUT3 はオプションです)

出力されているときはランプが点灯します。

※必ず入力は INPUT1 からご使用ください。

⑦BORDER

WIPE 境界のボーダーカラーを ON/OFF します。

⑧MENU

メニュー画面に移ります。設定中にはキャンセルボタンとして動作します。

⑨ENTER

メニュー画面で各設定を決定します。

⑩SELECT

メニュー画面で各項目を選択します。

・本体背面

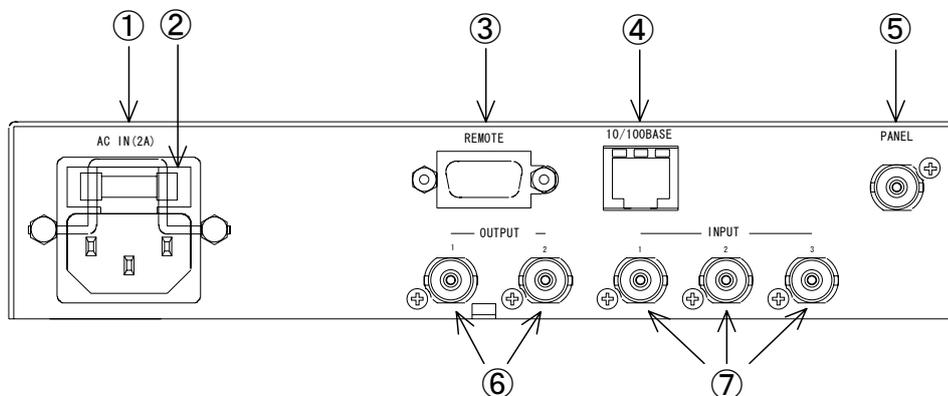


図3-2 各部の名称と働き(本体背面)

①AC IN

三端子の電源コネクタです。電源コードを接続します。

②ヒューズホルダー

2Aのヒューズを装着します。(出荷時は実装済みです)

③REMOTE

秒パルスの受信およびタリール出力に使用します。

④10/100BASE

ネットワークでのファイル転送に使用します。

⑤PANEL

コントロールパネル(オプション)と接続します。

⑥OUTPUT1,2

HD-SDIの映像信号出力端子です。

⑦INPUT1~3

HD-SDIの映像信号入力端子です。INPUT3はオプションです。

※必ず入力はINPUT1からご使用ください。

4. 操作方法

1. 基本操作

(1) 映像フォーマットの選択

入力する映像フォーマットをFORMATスイッチで選択します。

0:1080i

1:720p

(2) 正面パネルからの操作禁止

LOCKスイッチをLOCK(上側)にすると正面パネルのスイッチ類が無効になります。(FORMATスイッチを除く)

(3) 画面表示

正面パネル 1、2、3 スイッチを押すと、対応しているINPUT1～3を全画面に表示します。

スイッチ上のランプは表示されているINPUTのランプが点灯します。

全画面表示で選択されているスイッチをもう一度押すと2分割、または3分割表示になります。

※INPUT3(3分割表示)はオプションです。

※必ず入力はINPUT1からご使用ください。

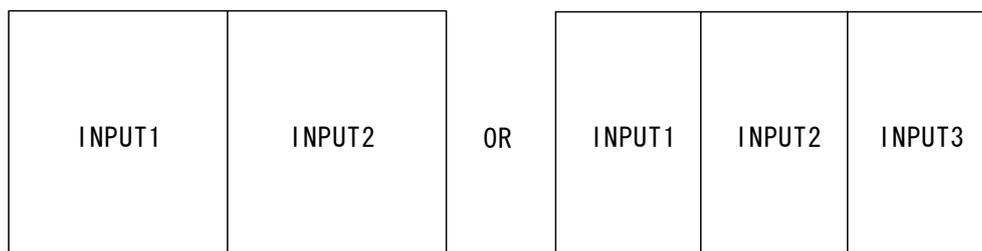


図4-1 画面表示

(4) ボーダー

INPUT1,INPUT2,INPUT3をWIPEで分割表示したとき、境目にボーダーカラーを表示します。

正面パネル BORDER スイッチでON/OFFします。

2. メニュー操作

MENUを押すと下図のメニューが出力モニターに表示されます。

MAIN MENU			
→BORDER	POSI	1-2	2-3
	POSI INIT	EXE	
	WIDTH	2	4 7
	COLOR	WH	BK RD
CHARACTER		ON	OFF EDIT
INPUT3		ENA	DIS
DETECTION CMP		ON	OFF
	CRC	ON	OFF
ERROR HOLD		OFF	3S ON
	COUNT CLR	EXE	
	LOG CLR	EXE	
NETWORK			

図4-2 メインメニュー

(1) 基本操作(例: BORDER WIDTH)

1) “→”で現在選択されている項目を示します。選択されている項目は白、他の項目はグレーで表示されます。パラメータも同様に現在選択されているパラメータが白、その他はグレーで表示されます。

```
→BORDER POSI      1-2  2-3
    POSI INIT  EXE
    WIDTH      2  4  7
```

2) SELECTつまみを右に回すと“→”は下方向に移動します。最下位のときは最上位に移動します。SELECTつまみを左に回すと“→”は上方向に移動します。最上位のときは最下位に移動します。SELECTつまみを回してWIDTHを選択します。

```
    POSI INIT  EXE
→   WIDTH      2  4  7    BORDER WIDTHが選択されます。
```

3) **ENTER**を押して項目を決定します。“→”がパラメータ部へ移動します。

```
WIDTH      →2  4  7    BORDER WIDTHを設定します。
```

4) SELECTつまみを回して4を選択します。

```
WIDTH      →2  4  7    2から4へ切り替わります。
```

5) **ENTER**を押してパラメータを決定します。パラメータを変更しないとき(キャンセル)は**MENU**を押します。これらのとき、“⇒”は自動で項目選択へ戻ります。

⇒ WIDTH 2 4 7 **ENTER**を押した場合。

6) 続けて他の項目を設定する場合は1)~5)の操作を、終了する場合は**MENU**を押します。

※設定を終了すると、“⇒”の位置は保存され、次にメニュー画面になったときは前の位置から始まります。

3. 各機能の説明と操作方法(操作は前ページの「メニュー操作」をご覧ください)

(1) BORDER

ポジション、幅、カラーを設定します。

POSIを選択すると、SELECTつまみでボーダーポジション(WIPE境界)を移動できます。

ENTERを押すと決定されます。**MENU**を押すと中断して“⇒”の位置は左側に戻ります。

まず1-2を設定し、INPUT3がENAの場合は続けて2-3を設定します。

POSI INITを選択し、EXEで**ENTER**を押すとボーダーポジションが均等になるように設定されます。

WIDTHではSELECTつまみでボーダーの幅を設定します。ボーダー幅は、2ドット、4ドット、7ドットの3種類です。

COLORではSELECTつまみでボーダー色を設定します。色は白(WH)、黒(BK)、赤(RD)の3種類です。

SELECTつまみで選択した項目は**ENTER**を押して決定します。

(2) CHARACTER ON/OFF

INPUT1~3各々に素材名などコメントを表示します。SELECTつまみでON/OFFを選択し、**ENTER**を押して決定します。

(3) CHARACTER EDIT

素材名などのコメントをINPUT1~3各々に16文字まで入力できます。

SELECTつまみでMENUのEDITを選択し、**ENTER**を押すと下図のメニューを表示します。

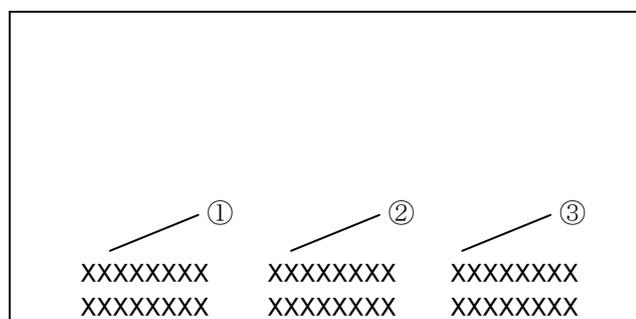


図4-3 素材名の表示

各ブロック①、②、③は左上端を起点とします。カーソルの初期位置は①の起点です。

正面パネル 1、2、3 スイッチで各ブロックの起点に直接移動できます。

現在のキャラクタからSELECTつまみの右回しで、0~9、A~Z(大文字のみ)、-、/、空白 の順にカーソル位置のキャラクタが変わります。左回しは逆の動きです。

ENTERを押すとキャラクタが設定され、カーソルが左から右、上から下へ1文字移動します。

最後のカーソル位置まできたら次のブロックの起点に移動します。ブロックの最後では①へ戻ります。キャラクタを変更せずカーソル移動するには、SELECTを回さずENTERを押します。

カーソルのあるブロック以外はグレー表示します。

INPUT3オプション未実装またはINPUT3がDISABLEのときは、①と②のみ表示します。

(4)INPUT3

ENAを選択するとINPUT3(オプション)が有効になり3分割の画面になります。

(5)DETECTION

エラー検出表示を行うか否かを設定します。

CMP:ONのとき入力比較で違いがあるときに表示を行います。OFFのときは行いません。

CRC:ONのときCRCチェックでエラーがあるときに表示を行います。OFFのときは行いません。

※各々の設定がOFFであってもエラーが発生するとエラーログは記録されます。

(6)ERROR HOLD

エラー表示をホールドする機能です。

OFF:エラーが発生している期間エラー表示します。

3S :エラーが発生したときから3秒間エラー表示します。

REMOTEコネクタの5番ピン接点信号出力(P-17「1.REMOTE」参照)も3秒間エラー出力し続けます。

ON :一度エラーが発生するとエラーカウントをクリアするまでエラー表示は消えません。

※「OFF」と「3S」は正常な映像になるとエラー表示が消えます。

(7)ERROR COUNT CLR

エラーが発生したカウント数をクリアします。EXEIに“⇒”をあわせ、ENTERを押すと実行されます。

(8)ERROR LOG CLR

エラーログをクリアします。EXEIに“⇒”をあわせ、ENTERを押すと実行されます。

(9) NETWORK

IPアドレス等のネットワークの設定を行います。

・IP ADRS

ネットワーク管理者から割り当てられたIP(インターネット プロトコル)アドレスを入力します。

・SUBNET

ネットワーク管理者から割り当てられたサブネットマスクを入力します。

・GATEWAY

デフォルトゲートウェイのアドレスを入力します。

1)メインメニューでNETWORKを選択しENTERを押します。

→NETWORK

NETWORKを選択。

NETWORK	
→IP ADRS	000.000.000.000
SUBNET	000.000.000.000
GATEWAY	000.000.000.000

図4-4 ネットワークメニュー

2)NETWORK画面に切り替わります。

“→”で現在選択されている項目を示します。選択されている項目は白、他の項目はグレーで表示されます。

→IP ADRS

000.000.000.000

IP ADRSが選択されている場合。

3)SELECTつまみを右に回すと“→”は下方向に移動します。最下位のときは最上位に移動します。

SELECTつまみを左に回すと“→”は上方向に移動します。最上位のときは最下位に移動します。

4)ENTERを押して設定する項目を決定します。“→”がパラメータ部へ移動します。

IP ADRS

→000.000.000.000

IPアドレスを設定します。

SUBNET

000.000.000.000

サブネットマスクを設定します。

GATEWAY

000.000.000.000

デフォルトゲートウェイを設定します。

5)一桁ずつ設定します。点滅している桁が現在編集の桁です。

SELECTつまみを回して0~9を選択します。ENTERを押すと次の桁に移ります。ドットで区切られた3桁の数値は、000~255を設定してください。無効な設定は自動的に255に修正されます。

6)最後の桁でENTERを押すか、途中でMENUを押すとパラメータを決定し項目選択へ戻ります。

7)SUBNET、GATEWAYの場合も同様の手順で設定します。

8)項目選択時にMENUを押すとNETWORKを終了し、メインメニューに戻ります。

9)SV-90HDを再起動させる(電源を立ち上げなおす)事により各アドレスが反映されます。

4. エラー表示

エラーが検出されると画面にエラーとその発生数を表示し、REMOTEに信号を出力します。

表示される発生数は最大99までです。99を超えた場合も表示は99のままです。

再カウントする場合はメニュー操作でCOUNT CLRを行ってください。

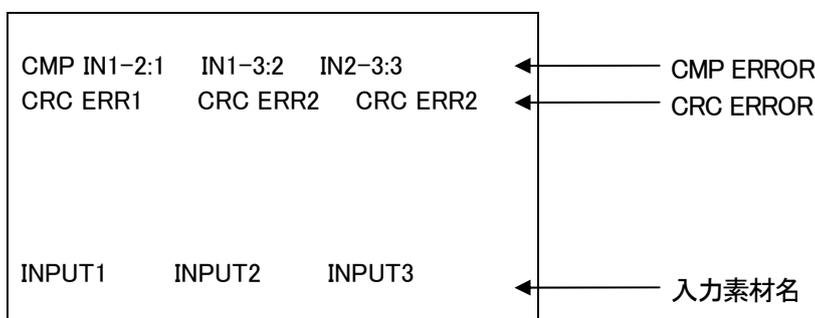


図4-5 エラー表示

エラー表示と内容

- IN1-2・・・INPUT1とINPUT2のどちらかに別の映像信号が入った場合やノイズが発生した場合、映像データに違いが発生して表示されます。コロン(:)の後がエラーの発生数です。
- IN1-3・・・INPUT1とINPUT3のどちらかに別の映像信号が入った場合やノイズが発生した場合、映像データに違いが発生して表示されます。コロン(:)の後がエラーの発生数です。
- IN2-3・・・INPUT2とINPUT3のどちらかに別の映像信号が入った場合やノイズが発生した場合、映像データに違いが発生して表示されます。コロン(:)の後がエラーの発生数です。
- CRC ERR・・・CRCエラーが発生したときに表示されます。

CRCエラーは各入力素材名の上部に表示されます。

5. ブラウザ操作

本体と接続されているPCの電源を入れ、ブラウザを立ち上げます。

ブラウザのアドレス入力欄にIPアドレスとindex.htmを指定し、ENTERキーを押してください。

例) <http://192.168.201.56/index.htm>

以下の画面が表示されます。

SplitViewer HTML SERVER MAIN PAGE	
SV-90 HTML SERVER	設定モードを指定してください。
<u>内部時計設定</u> <u>プログラムアップロード</u>	

図4-6 ブラウザ画面

(1) 内部時計設定

左側のメニューから内部時計設定をクリックすると以下の画面が表示されます。

ここでは内部時計を設定します。

年・月・日・時・分・秒の各値を入力し、更新ボタンを押すとその状態が設定されます。

再読込ボタンをクリックすると内部時計を読み込んで画面に表示させます。

SplitViewer HTML SERVER MAIN PAGE													
SV-90 HTML SERVER	内部時計設定 <table border="1"><thead><tr><th>年</th><th>月</th><th>日</th><th>時</th><th>分</th><th>秒</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> <input type="button" value="更新"/> <input type="button" value="再読込"/>	年	月	日	時	分	秒						
年		月	日	時	分	秒							
<u>内部時計設定</u> <u>プログラムアップロード</u>													

図4-7 内部時計設定

(2) プログラムアップロード

左側のメニューからプログラムアップロードをクリックすると以下の画面が表示されます。

「参照」ボタンで登録するファイルを選択し、「送信」ボタンでSV-90HDに送ります。

これはメンテナンス用ですので、バージョンアップの必要が生じたときのみ弊社カスタマサービス
(本書最終ページ参照)へご連絡ください。

SplitViewer HTML SERVER MAIN PAGE	
SV-90 HTML SERVER	プログラムアップロード
<u>内部時計設定</u> <u>プログラムアップロード</u>	送信するファイルを選んで、送信釦を押してください。(8+3 文字形式)
	ファイル: <input type="text"/> <input type="button" value="参照"/>
	<input type="button" value="送信"/>

図4-8 プログラムアップロード

6. エラーログ転送

最近1000行までのエラーログをTCP/IPネットワークに接続されたSV-90HDのFTPサーバ機能を使用して、PCにテキストファイルとして転送できます。

SV-90HDのFTPサーバはファイル転送に必要な最小限のコマンドしかサポートしていない為、FTPクライアントによっては転送できないものも存在します。

(1) 接続図

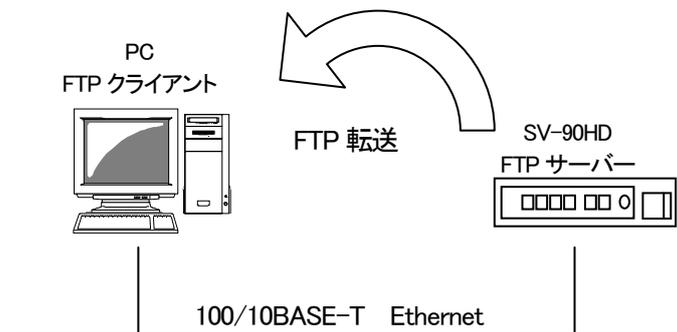


図4-9 ネットワーク接続図

(2) ネットワーク接続の確認

P-10「(9)NETWORK」の方法でネットワークの設定を行ったら、SV-90HDとPCクライアントが正常にネットワークで接続されているかをPINGコマンドで確認します。

ここでは仮にSV-90HDのIP ADDRESSを 192.168.201.56とします。

SV-90HDの電源が入っている事を確認してください。

・Windowsの場合

スタート→プログラム→MS-DOSプロンプトを起動します。

そこから “ping 192.168.201.56”を入力し以下のようなメッセージが表示されるのを確認してください。

```
C:\>ping 192.168. 201.56

Pinging 192.168. 201.56 with 32 bytes of data :

Reply from 192.168. 201.56: bytes=32 time<10ms TTL=128

C:\>
```

図4-10 MS-DOS画面

“Reply from …”と表示されればOKですが、“Request time out”のメッセージが表示された場合、PCクライアントから接続が正常に行えていません。ケーブルの接続、SV-90HD及びPCクライアントのネットワーク設定を確認してください。

(3) FTP転送操作手順

FTPを使用してファイルの転送を行います。PCクライアントはWindows PCを使用します。

ここでは仮にSV-90HDのIP ADDRESSを 192.168.201.56とします。

・PCクライアントからの転送

1) Windowsのスタートボタン→プログラム→MS-DOSプロンプトを起動します。

2) MS-DOSプロンプトから”ftp”コマンドを入力します。

“ftp>”が表示されます。

3) ”open 192.168.201.56”を入力します。

ユーザー名とパスワードは特に指定せず、そのままエンターを押します。

以上が正常に終了すると下の画面になりSV-90HDのFTPサーバへのログインが完了します。

```
C:\>ftp
ftp>open 192.168.201.56
Connected to 192.168.201.56
220 FTP Server ready
User (xxx.xxx.xxx.xxx(none)):USER
331 Password required
Password:xxxx
230 Logged in
ftp> |
```

図4-11 ftpコマンド画面

- 4) getコマンドでエラーログファイルを転送します。” get errlog.txt”を入力します。

転送が正常に終了すると以下のメッセージが表示されます。

エラーログファイルの保存先はftpコマンドを実行したフォルダ(ファイル名:errlog.txt)になります。保存先にファイルが存在する場合、上書きを行いますので注意してください。

```
230 Logged in
ftp>get errlog.txt
200 PORT command successful.
150 Opening data connection
226 Transfer complete
ftp: 35000 bytes received in 0.22Seconds 159.09Kbytes/sec.
ftp>
```

図4-12 getコマンド画面

転送を終了させる場合“by”コマンドで接続を終了させます。

受信したエラーログファイルはメモ帳等のテキストエディタで閲覧してください。

- 5) エラーが表示されたり受信に失敗した場合は“by”コマンドで接続を終了させ、上記2)からの接続を行なってください。

7. 秒パルス受信

秒パルスを受信して、局内時計と同期したエラーログを残します。

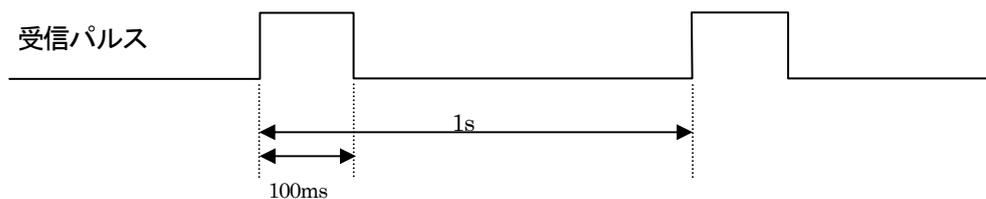


図4-13 秒パルス

P-17のREMOTEコネクタ①-②番ピンがMAKEすることで秒パルスを受信します。

5. 外部インターフェース

1. REMOTE

ピン番	信号	機能
1	接点信号入力**1	秒パルス受信トリガ入力。100ms 以上の接点トリガを入力し、内部時計を同期させます。入力がなくても内部クロックで自走しますが、ログの日時の精度は保障されません。
2	接点信号入力**1	未使用
3	接点信号入力**1	未使用
4	接点信号入力**1	未使用
5	接点信号入力**1	未使用
6,15	GND	接点信号入力用 GND 端子。
7	接点信号出力**2	データー相違エラー発生時にコモン端子と MAKE します。
8	接点信号出力**2	CRC エラー発生時にコモン端子と MAKE します。
9	接点信号出力**2	未使用
10	接点信号出力**2	未使用
11	接点信号出力**2	未使用
12	接点信号出力**2	放熱 FAN アラーム時コモン端子と MAKE します。
13	コモン	接点信号出力用コモン端子。
14	+5V 出力	接続しないで下さい。

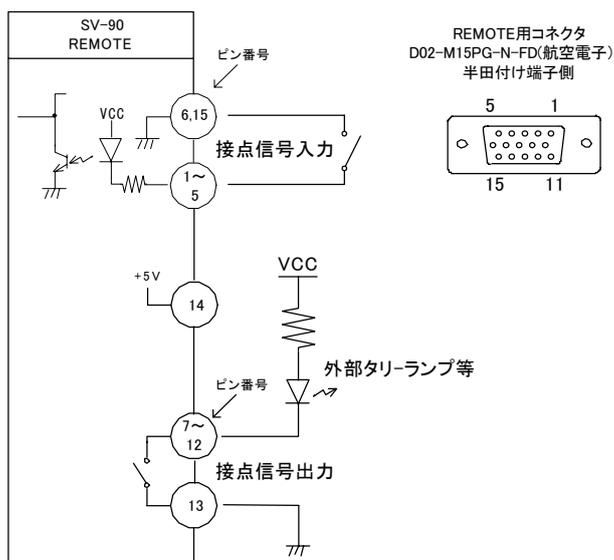


図5-1 REMOTE

**1 接点信号入力をロジックで制御する場合、吸い込み電流が12mAまで耐えられるデバイスで駆動してください。

**2 接点信号出力の絶対最大定格は60V、300mAです。外部抵抗で電流を300mA以下に制限してください。

2. 10/100BASE

ネットワークでのファイル転送に使用します。

ピン番号	信号	入出力
1	TX+	出力
2	TX-	出力
3	RX+	入力
4	N.C	-
5	N.C	-
6	RX-	入力
7	N.C	-
8	N.C	-

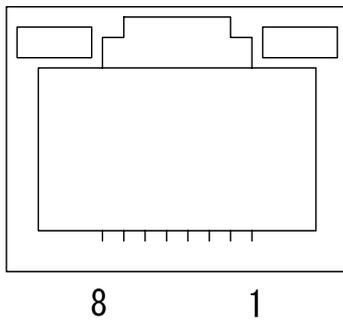


図5-2 10/100BASE

6. トラブルシューティング

トラブルが発生した場合の対処方法です。

(文中の→は対処方法を示しています)

現象 電源が入らない！

原因 ・本体正面の電源スイッチは ON 側になっていますか？

・本体の電源ケーブルのプラグはコンセントに挿入されていますか？

・本体のヒューズは切れていませんか？

→もし交換してすぐにヒューズが切れるようであれば、直ちに使用を中止し、下記の連絡先にご連絡ください。

現象 映像が正常にモニターに出力されない！

原因 ・映像フォーマットの設定がシステムに合っていますか？

→P-4「⑤FORMAT」を参照してください。

・INPUT1 に映像が入力されていますか？

→必ず入力は INPUT1 からご使用ください。

現象 本体正面のスイッチが全て効かない！

原因 ・LOCK スwitchの設定が LOCK 解除側になっていますか？

→P-4「④LOCK」を参照してください。

現象 FAN ALARM ランプが点滅している！

原因 ・ファンに埃などが付着していませんか？

→本体の電源を OFF して、ファンの清掃を行ってください。

清掃後も点滅している場合は下記の連絡先にご連絡ください。

現象 エラーログの日付や時刻がおかしい！

原因 ・SV-90HD 内部時計がくるっていませんか？

→P-12「(1)内部時計設定」を参照して内部時計の設定を行ってください。

お問い合わせは、当社カスタマサービスまでご連絡ください。

☆連絡先……ビデオトロン株式会社

〒193-0835 東京都八王子市千人町2-17-16

TEL 042-666-6329

FAX 042-666-6330

受付時間 8:30~17:00

e-mail cs@videotron.co.jp

土曜、日曜、祝祭日時は本マニュアル最終頁の緊急時の連絡先をご参照ください。

7. 保守・点検

・ヒューズの交換方法

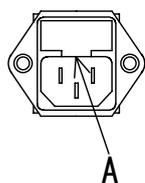


図7-1 ヒューズホルダー

マイナスドライバー等で、下からヒューズホルダーの爪(A部)に引っ掛け、手前に引き出してヒューズの交換をしてください。

8. 仕様

1. 定格

◇入力信号		
・INPUT1~3	HD-SDI SMPTE-292M BNC	各 1 系統(INPUT3 はオプション)
◇出力信号		
・OUTPUT	HD-SDI SMPTE-292M BNC	2 系統
◇映像フォーマット		
・1080i	1920 × 1080i	59.94Hz
・720p	1280 × 720p	59.94Hz
◇制御信号		
・パネルコントロール	BNC	操作パネル間接続(オプション)
・リモート	DSUB 15PIN メス	
・LAN	10/100BASE	RJ-45
◇電 源	AC90V~110V	50/60Hz
◇消費電力		
・本体	30VA	
◇外形寸法(突起物含まず)		
・本体	200(W) × 44(H) × 347(D)mm	
◇質量		
・本体	3kg	
◇使用温度	0~40°C	

2. 性能

◇サンプリング周波数	74.18MHz (59.94Hz)
◇信号分解能	8Bit
◇表示能力	
・表示領域	1920 × 1080 (1080i) 1280 × 720 (720p)

3. 機能

◇ボーダー	ポジション移動 幅 3 段階(2dot,4dot,7dot) カラー3 色(白、黒、赤)
◇文字表示	0~9、A~Z、-、/、空白

9. 外形尺寸图

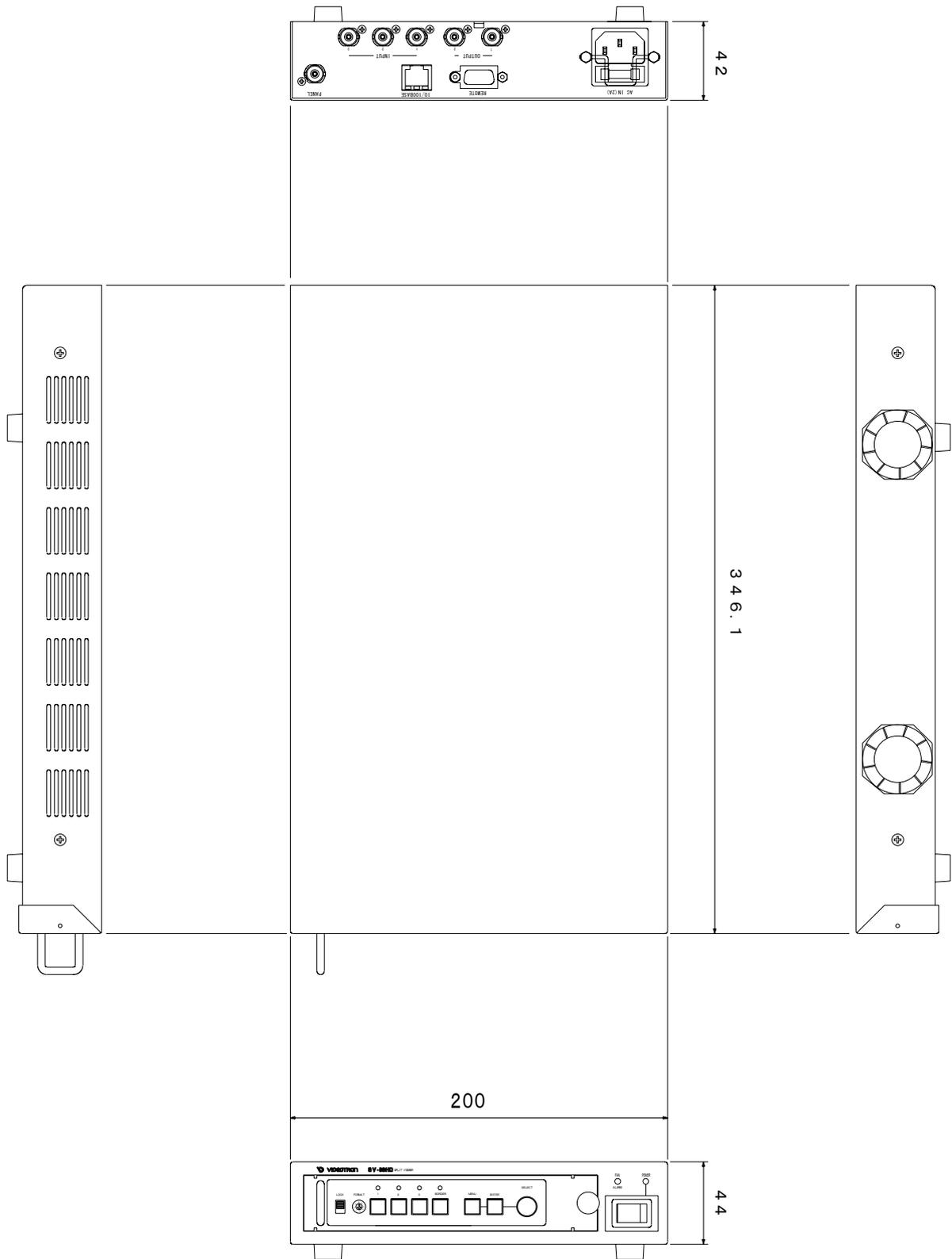


图9-1 外形尺寸图

御使用各位 殿

ビデオトロン株式会社
製造技術部

緊急時の連絡先について

日頃は、当社の製品をご使用賜わりまして誠にありがとうございます。
ご使用中の製品が故障する等の緊急時には、下記のところへご連絡いただければ
適切な処置を取りますので宜しくお願い申し上げます。

記

◎営業日の連絡先

ビデオトロン株式会社 製造技術部

〒193-0835 東京都八王子市千人町2-17-16

TEL 042-666-6329

FAX 042-666-6330

受付時間 8:30～17:00

e-mail:cs@videotron.co.jp

◎土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話 042-666-6311

緊急時 090-3230-3507

受付時間 9:00～17:00

※携帯電話の為、通話に障害を起こす場合がありますので、あらかじめご了承ください。

無断転写禁止

- ・このファイルの著作権はビデオロン株式会社にあります。
- ・このファイルに含まれる文書および図版の流用を禁止します。